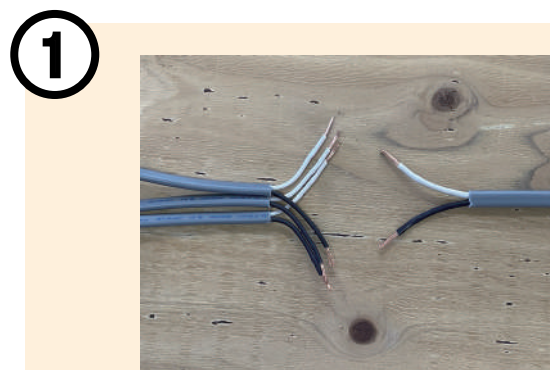
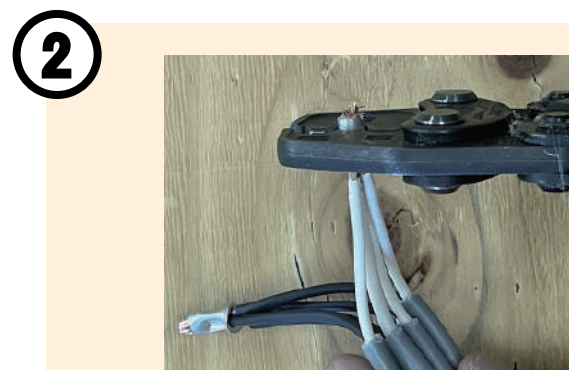




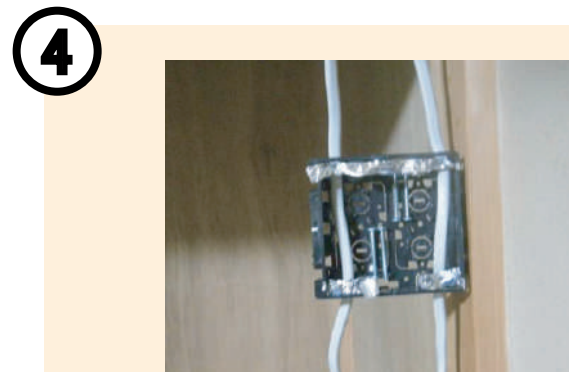
敷設面ごとのリード線をまとめます。(白と黒それぞれ)



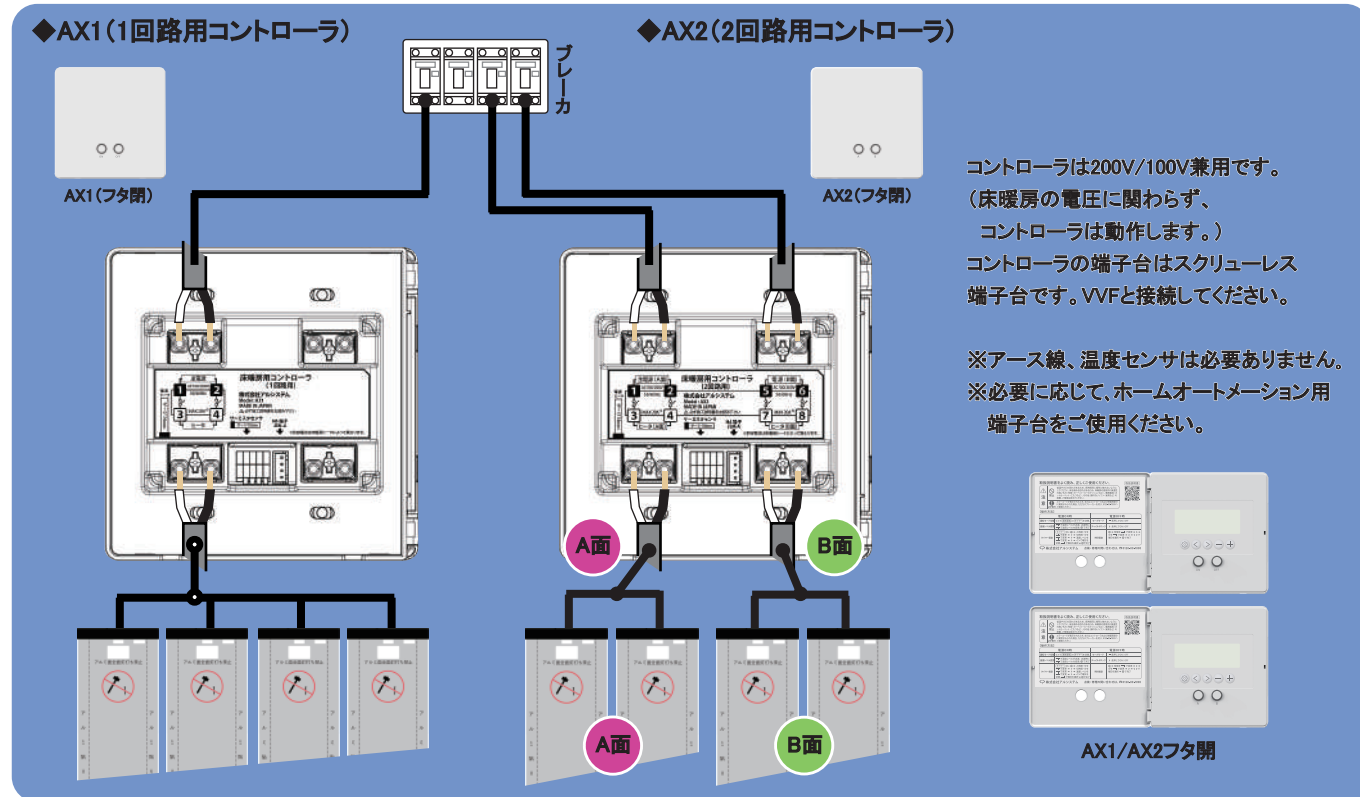
VVF 1.6MM (Fケーブル/VA線)と、①でまとめたリード線(白と黒をそれぞれ)をリングスリーブを用いて圧着結線します。



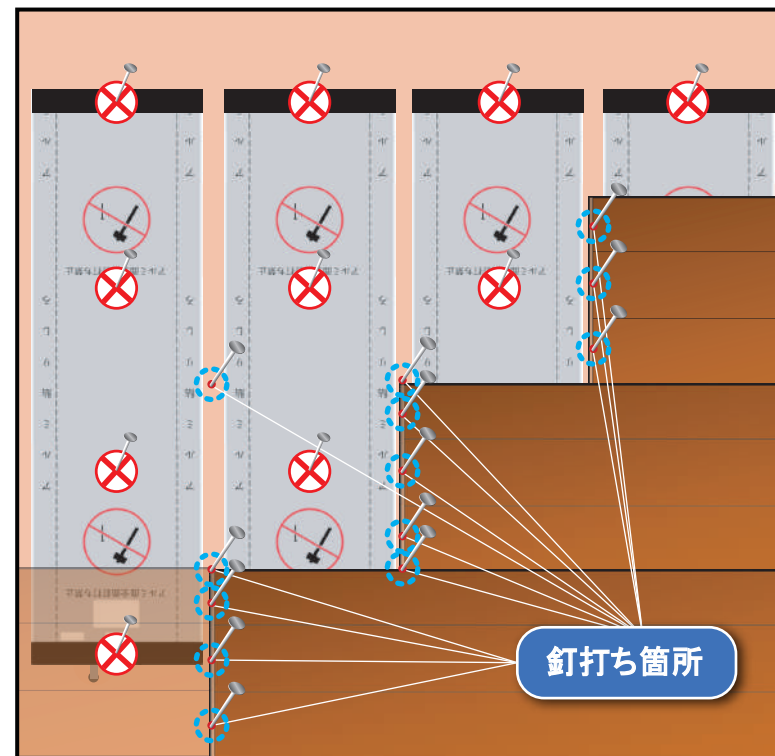
圧着結線した部分を絶縁テープで絶縁防湿処理をします。



コントローラ取付け予定位置で仮止めします。電源側(一次側)も同様です。コントローラへの接続は下の配線図を参考にして下さい。



このたびは電気式根太間床暖房「プリマヴェーラ・ルーチェ」をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。安全かつ正しく施工していただくために、施工前には必ず当施工要領をよくお読みいただきますようお願いいたします。ご利用いただきました製品、または本書について、お気づきの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく当社営業担当者にお問い合わせください。

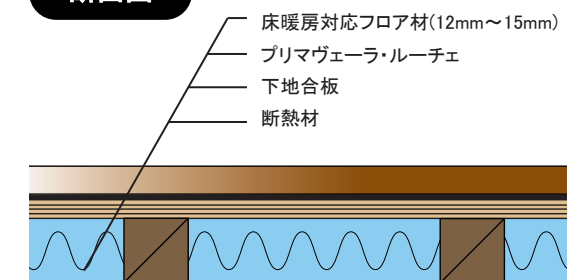


プリマヴェーラ・ルーチェは「全面」釘打ちできません

傷がついた場合は、新しいプリマヴェーラ・ルーチェが必要となります。速やかに当社営業担当者までご連絡ください。

傷がついたプリマヴェーラ・ルーチェをそのまま施工し、事故が発生した場合、当社は一切の責任を負えません。

断面図



- ポイント① ターミナル部がフロア材短辺部の中央付近になるように位置を決めてください。
- ポイント② 釘打ちするフロア材の継ぎ手部分の下にはプリマヴェーラ・ルーチェを重ねないように割付けをしてください。

施工に関する注意事項

◆フロア方向、貼り始めの位置、配線方法、コントローラの位置等をあらかじめ必ず確認してください

◆出荷明細書と商品を確認してください



商品到着後(納品日)、1週間以内に
出荷明細書と商品をご確認ください。

※期限が過ぎている場合、
対応をしかねることがあります。

◆施工の前に当社営業担当者までご連絡ください
当社営業担当者が施工説明に伺います



初めて当社製品を施工される
施工店様・電気工事店様に向けて
施工方法を説明いたします。
その際、大工様・電気工事士様・
現場監督様のご同席をお願い
いたします。

また、日程の調整はお早目に
お願いいたします。

◆昇温試験は接着剤乾燥後に行ってください
(目安:夏期は2~3日、冬期は5日以上)



※釘打ちや誤配線の確認のため、
現場合成抵抗値、絶縁抵抗値の
測定は施工後すぐに行ってください。

接着剤が固まる前に電気を通して
熱を加えたり、接着剤を塗りすぎたり
すると、しっかり接着せず、床鳴り他
問題が発生する可能性があります。

◆その他 禁止事項



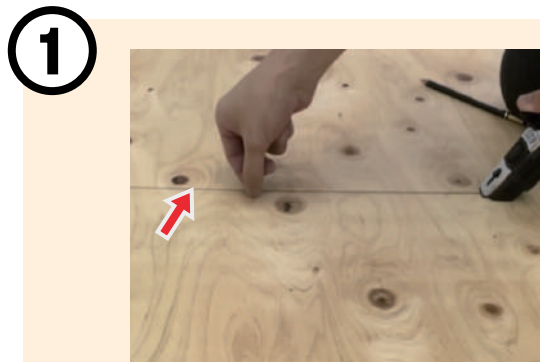
シート上へ土足で
上がらないでください



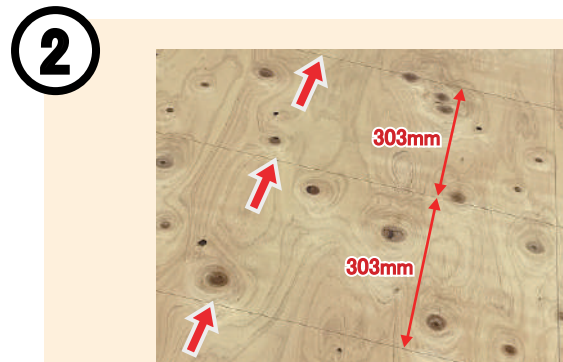
シートを丸めている
状態で踏まないで
ください



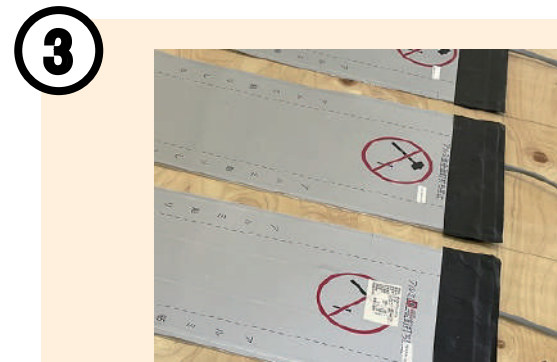
シートを取り出す時等
強引に力で引っ張ら
ないでください



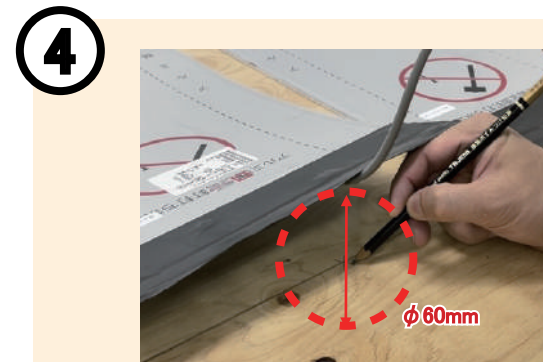
フロア材の割付けに合わせてプリマヴェーラ・ルーチェの敷設位置を決定し、墨出しをおこなってください。



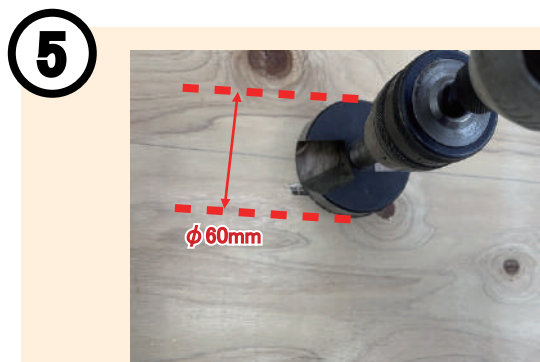
敷設の墨位置から 303mm 間隔で墨出しをおこなってください。



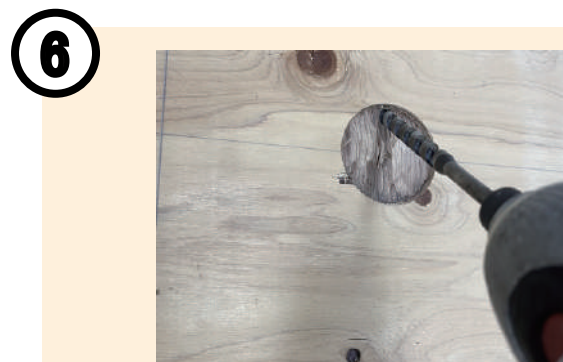
墨位置に合わせてプリマヴェーラ・ルーチェを仮置きしてください。



プリマヴェーラ・ルーチェのターミナル部分の下地に、印をつけます。ターミナル部分の大きさの目安は、φ60mm程度になります。

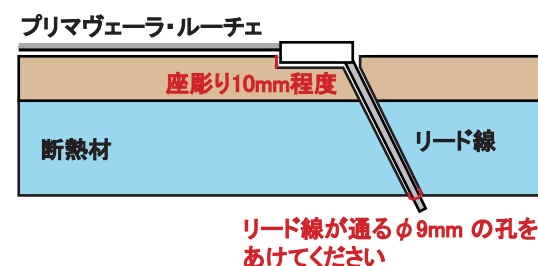


下地にターミナルの厚み分(10mm程度)の座彫り加工をしてください。(φ60mm程度)

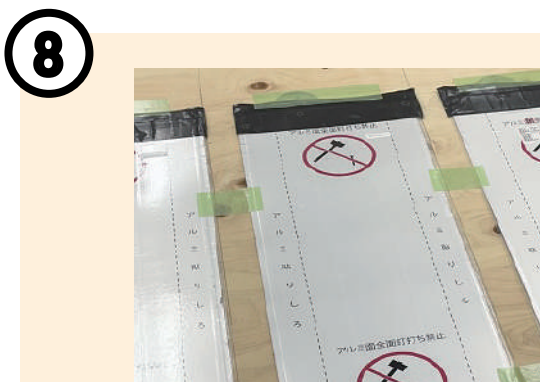


座彫り加工した下地にリード線が通るφ9mm程度の孔をあけてください。

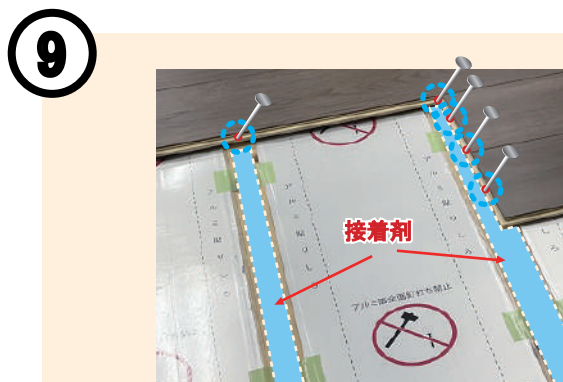
断面図



下地加工後は清掃をお願いします。施工する部分にゴミが入ってしまった場合、プリマヴェーラ・ルーチェに傷がつき、漏電する恐れがあります。



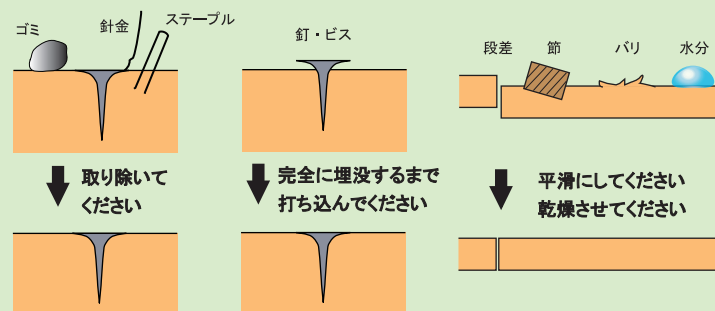
下地加工をした箇所に、墨位置に合わせてプリマヴェーラ・ルーチェを敷設し配線を床下に落とします。プリマヴェーラ・ルーチェは養生テープ等で数カ所固定する事で、敷設位置のズレを防ぐことができます。



各フロアメーカー様の施工要領に準じて接着剤と釘を併用し、フロア材の敷設をおこなってください。

⚠️ プリマヴェーラ・ルーチェ敷設前の注意

- プリマヴェーラ・ルーチェを敷設する前に、ゴミ・木クズ・連結釘の針金・ステープル等の無いよう、丁寧に掃除してください。
- 釘・ビス等の頭は埋没するまで打ち込んでください。
- 合板のバリや節などの突起物、段差等の無いよう平滑にしてください。
下地合板が濡れている場合は、よく乾燥させてください。



床暖房検査表の記入方法

仕上げ材の施工と電気配線の完了後、検査を行い、数値を床暖房検査表に記入し、当社まで FAX 送信してください。

重要 床暖房検査表 FAX下さい(要返却)		FAX:03-6880-4318			
管理番号		株式会社アルシスアム 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア5F 525号室 TEL:03-6772-8550 担当: 携帯:			
No.					
物件名: ○○様邸					
◆点検枠内は必ずご記入下さい。					
ユニットNo.	敷設場所	電圧	数量 単位	絶縁抵抗値 (500Vで計測)	昇温検査
01~02	リビング A面	200	2 組	MQ	良・不可
03~04	リビング B面	200	2 組	MQ	良・不可
05	キッチン	200	1 組	MQ	良・不可
※正確にご記入下さい(事実と異なる数値が検出された場合、保証対象外とさせていただきます)					
現場住所	都道府県	市区町村			
電気工事士	会社名			携帯電話番号	
	氏名				
施工店	会社名			電話番号	
※保証書は施工店様で、必要事項をご記入後お施主様にお渡し下さい。					
<絶縁抵抗値(MQ)の計測> 二次側の片方と地中から取ったアースで計測。 ※計測値はデジタルがお勧めです。 抵抗値が上がらない場合は、シートが損傷している可能性がありますので、出来るだけ早い段階で担当営業までご連絡下さい。 DC500V : 50MQ 以上 (正常値)					
<昇温検査> 電源を入れて、床暖房設置場所全ての温度上昇を確認して下さい。 良 不可					

① 絶縁抵抗値の測定
二次側配線の片側と対地(アース)間で測定



PTC フィルムシート及び配線からの漏洩電流がないか確認するための検査です。正常値範囲から逸脱している場合は、速やかに当社営業担当者にご連絡ください。
※必ず二次側で測定してください。

正常値	
500V計測	50MΩ ~ ∞

② 昇温検査



左の写真は、赤外線温度計で温度上昇を確認している様子ですが、体感で昇温が確認できれば問題ありません。

※仮設電源の場合は、省略していただいても構いません。

温まっている	温まっていない
良に○	不可に○